

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校
令和3年度 学校関係者評価会議

《評価対象期間》

自：令和3年4月1日至：令和4年3月31日

学校関係者評価委員名簿

氏名	役職等
寺崎 浩二	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部部长
渡邊 博	九州日産株式会社 管理部企画・総務グループ
波多江 貴志	福岡市立 東光中学校 学校長
植松 真弥	U・S自動車代表 本校第2期卒業生

本校出席者

氏名	役職等
大島 昇	副校長
吉田 智博	学生課長
本田 浩隆	学生課
松岡 宏和	教務課長
大家 隆弘	教務課
古江 正和	就職課
松尾 聡	事務係長

会議日時と場所：令和4年5月28日（土）10：00～ 第一自動車大学校 3階教室
次第

1. 開会及び副校長挨拶
2. 学校評価委員 自己紹介
3. 第一自動車大学校職員 自己紹介
4. 自己評価の結果説明
5. 自己評価に対する審議
6. 閉会

(1) 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した一級自動車整備士を6年、二級自動車整備士を30年以上に渡り育成し、我が国の自動車産業の技術の振興に寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えるとともに、日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

【審議内容】 1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えていますか

(具体的取り組み)

電気自動車及びハイブリッド等自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車メカニックコースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えている。また、次世代のエネルギーを学び考える未来型パワーユニットコース開設など学ぶ環境も整えている。日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人養成を行い社会に貢献する学校を目指している。

(課題)

社会経済のニーズの継続的かつ的確な把握及び魅力的な専門学校づくりを行い、時代に適した実習車による教育が必要である。

(改善策)

高校及び業界団体との連携の更なる強化が必要である。

又整備資格制度が見直しとなり、従来のジーゼル、ガソリン、シャシ、2輪はまとめて二級自動車整備士となり、一級自動車整備士と合わせて2種類となるのが令和9年1月から。それに合わせて新しい教科書が令和5年後期に出来上がる予定とされている。このことを踏まえて現在の実習車から新しい実習車への入れ替えは検討していく。

(2) 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果を分析し、年度の教育、就職支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

【審議内容】 2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか

具体的取り組み)

「教育指針」を踏まえ、教育、就職支援、募集広報等について具体化し事業計画を定めている。

(課題)

新型コロナの影響で事業計画が困難な場合あり

(改善策)

コロナの影響で休校した際、一部の学年はオンライン授業で対応したが、学生によっては自宅にWi-Fi環境が整っておらず、学年全員でオンライン授業を行うことが困難であった。その学年に対しては課題作成して渡し、対応した。よって事業計画の中で、更なる新型コロナ対策を分析し、昨年度の反省を検討していく必要がある。

(3) 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、わからせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細やかな授業体制の中で基本に力を入れ、一・二級自動車整備士合格率及び就職率 100%達成に向けて全教職員一同全力を注いでいる。また、一・二級自動車整備士以外の自動車関連の資格取得を積極的に奨励し、学生の一・二級自動車整備士としての自覚及び技術の向上に努めている。

【審議内容】 3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されていますか

(具体的取り組み)

授業科目一覧表、シラバスで明確化されている。

(課題)

カリキュラムの編成はされているが、授業内容の充実と工夫は必要である。

(改善策)

本校は5年前よりサイクル型授業を導入している。従来の前期中間・期末、後期中間・期末と4回の試験で成績評価するのではなく、教科書を科目ごとに細分化し、学科と実習の試験を行う。試験が行われるまでのサイクルは12日間。細分化された出題範囲からの評価試験となり、学科、実習の習熟度の確認ができることや、留年、退学の防止と国家試験合格률을5年前より上げることができている。しかし、今後は学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保と授業内容に工夫が必要である。

(4) 学修成果

一級自動車整備士コース、二級自動車整備士コース、留学生基礎自動車整備士コースそれぞれ毎に明確な目標を設定し、結節毎の評価判定と個々に応じたきめ細やかな教育により、段階的な実力向上を図っている。

令和3年度は、自動車整備士国家試験を受験した日本人学生が一部ジーゼルで合格できなかったことは非常に残念であり、更に引き続きより詳しく分析検討し教員の能力向上を含め今後の教育に反映していく。

退学率の軽減策については、担任制により、自己発見検査やスクールライフアンケートで学生の心情等の把握に努めるとともに、職員間の情報の共有により組織的に退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、日本人学生、留学生ともに、8年間連続100%就職ができており、着実に成果があがっている。

【審議内容】 4-4 卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(具体的取り組み)

社会で活躍する卒業生を学校案内等に掲載する等卒業後の活躍状況の把握・評価・広報に努めている。

(課題)

企業訪問時等で情報交換し卒業生の状況を確認しているが卒業生に関するデータが学校として整理できていない。

(改善策)

本校の卒業生累計二級は3045名。一級は16名輩出している。卒業時の就職先は把握しているが、その後に転職した先は把握していない。このことは後援会を設けていないことも原因の一つである。これを解消するため卒業生とはSNSで繋がりを持ち、近況の変化などの情報収集をしている。よって自動車関連業界や社会で活躍する

卒業生の名簿の整備が急務である。

(5) 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当によるきめ細やかな就職・進路指導により、概ね希望の方面に100%就職できている。

経済的な支援に関しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、担当事務職員により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように、学生、保護者が利用しやすいきめ細やかな支援体制を整備し、懇切丁寧な対応に努めている。

【審議内容】5-7 卒業生への支援体制はあるか

(具体的取り組み)

卒業生の就職先への会社訪問を行うとともに、インターンシップの機会に卒業生の激励や活躍状況の把握を行っている。また、相談があれば卒業後も就職のサポートを実施している。

(課題)

能動的な支援体制は整備できていない。

(改善策)

SNSで卒業生への個別相談は対応しているが、こちらへの相談がないまま退職していたということもある。就職支援体制の強化と、能動的な卒業生への支援が必要である。

(6) 教育環境

福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており、カーディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域が、通学路と重なっていることから、職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍には、複数のカーディーラーや自動車整備工場が存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級及び二級整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も定期的に受検し、合規適正に管理している。

【審議内容】6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか

(具体的取り組み)

設置基準に基づく施設・設備を維持している。

(課題)

逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保

(改善策)

自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用が必要である。計画的な施設・設備の改修も急務である。ブロック塀の耐震対応整備など、都度、施設営繕を行っている。今後は実習車の新調や整備設備の更新を行っていく予定である。

(7) 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、整備士への夢と希望を持った生徒、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者、そして留学生も、幅広く受け入れている。

地域的には九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与し、それぞれの担当区域内の高校訪問を計画的に実施し募集広報を行っているが、最近コロナ禍になり県外募集広報に苦戦している。また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体に国家試験の合格状況や就職状況等の教育成果を正確に伝えている。

【審議内容】7-1 学生募集活動は、適正におこなわれているか

具体的取り組み)

教職員に広報担当区域を割り当て高校訪問を行うとともに、進学ガイダンス等各種募集広報手段を駆使し学生募集活動を行っている。

(課題)

日本人学生特に一級自動車整備士コースの確保とともにコロナ禍において減少している県外学生と留学生確保が課題である。

(改善策)

募集広報活動は学園で行わず、各学校単位で行っている。教員、事務がそれぞれ県内、県外と広報活動の担当地区を持ち、資料請求や過去に入学実績がある高校へ訪問、案内を行っている。また、進学ガイダンスへ参加も行っている。近年は本校ホームページでの告知にも注力し、SNSを活用した情報発信、女子学生の入学者募集へも注力している。日本人学生特に一級自動車整備士コースの学生の確保とともに留学生募集広報の強化も必要である。

(8) 財務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

【審議内容】8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

具体的取り組み)

学校法人全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり中長期的には、学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

(課題)

新型コロナの影響を考え安定的な学生数の確保が重要である。

(改善策)

効果的かつ効率的な募集広報が必要である。

(9) 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の一級・二級整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、福岡陸運局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、自己点検・評価を行い問題点の改善を図るとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

【審議内容】

きちんと遵守しているので、審議なし。

(10) 社会貢献・地域貢献

若者の車離れが進んでおり、車に興味を持つ若者が減少する中、自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験学習等の授業を受け入れている。

また、留学生基礎自動車整備士コースでは、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、年1回の献血や月1回の学校周辺地域の清掃活動を行っている。

しかしここ2年程新型コロナの影響で十分な社会・地域貢献活動ができていない。

【審議内容】10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

（具体的取り組み）

自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験授業等を受け入れている。

また、関連企業の外国人労働者に対する日本語教育を、本校で日本語教育を行っている非常勤講師が実施している。

（課題）

地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢の確立

（改善策）

コロナ禍以前は地域公民館と交流し、献血、ボランティア清掃活動を行っていた。中学校からの申し出で来校型の整備の体験授業も行っていた。しかし令和3年度は献血は行うことができたが、他の地域との交流はほとんどできなかった。今後はコロナの感染状況を考慮しつつ近隣の小、中学校への整備の公開授業や、公民館の夏祭り等の行事参加を計画しているので、今後は計画の具体化と積極的なPRも今後必要である。

(11) 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ留学生基礎自動車整備士コースを設置し、海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして日本人学生と留学生の職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

【審議内容】11-3 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか

（具体的取り組み）

クラス担任及び同補助者を指定するとともに教員・事務職員全体で留学生に関する必要な情報を共有し適切に学習・生活指導等ができるよう体制を整備している。

（課題）

職員に母国語が理解できるものがないため、緊急な場合に留学生の保護者との会話がむずかしくなっている。

（改善策）

在籍している留学生の中から各国 1 名通訳担当を選び、緊急の場合のみ通訳を通して保護者との連絡が取れる体制作りが必要である。又本校を卒業した留学生からも在学中の留学生への相談窓口役や通訳として迎え入れることを検討中。

総 評

・一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部長 寺崎様

卒業生への支援に SNS で対応することは共感できた。今後は卒業生を対象とした同窓会を夏休みなどに行い、それぞれの悩みを卒業生同士で共有し聞く機会にしてはどうか？悩みを共有することで自分だけではないと感じることができ、退職、離職の防止にもつながる。

・九州日産株式会社 管理部企画・総務グループ 渡邊様

日産では月 1 回、社員が集まり話し合い、悩み相談をしている。そこで共有することで問題解決をしている。オープンキャンパスについては高校生が興味を持ってもらえるような楽しいイベントとなるよう協力する。若いうちに自動車整備士に興味を持ってもらいたい。

・U・S 自動車代表 本校第 2 期卒業生 植松様

留学生の事案等、はじめて知ったことが多くあった。糸島近辺にも留学生が多く、自社へ車を購入に来ることもある。車が好きな若い人が減ったと日々感じている。